

# 落語と小説

落語は、江戸時代の日本で成立して、現在まで伝承されている伝統的な話芸  
人情話が多い

今、はやりの落語だが、何度も滅びかけている…がそのつど生きかえっている  
そんなわけで業界では、同門関係なく、誰にでも稽古をつける風潮がある  
落語は企業秘密を伝授するようなことをやって来た世界  
齢をとった落語家は人生の渋みが出て良い

落語は、小説と似ている 共に一人でやる  
人情ばなし、恋愛もの、怪談、コメディ、SF、時代物、ミステリー、社会風刺、多岐にわたりおもしろい  
小説は書き手がはじめから最後まで一人で書き残す  
起承転結の流れが一般的  
作者の意図・癖が作風に出る

落語には古典落語と新作落語がある  
古典落語は時代時代の演者が推敲し、  
より面白く、深みを増すように工夫され、  
現在につながっている

落語は小説のように作り手が一人ではなく、  
時代をかけ、練り直されていることが根本的に違う

西欧のオペラ、クラシック音楽などは小説と同じで原作は原作として、譜面がある

時代時代に応じ、譜面の表現方法、  
演出の仕方とか舞台装置は変化し  
その時代に受けるような工夫がされているのだろう…

落語は一人話芸という特色がある  
話芸だけでなく俳優の一部も演じている  
1人で何役もやる話芸が世界にあるのだろうか？  
落語家は一人でオペラの世界を演じている  
座ったまま動かず、話芸で勝負

落語家の世界に外人も入ってきている  
かつて男性だけであった世界が、最近は女性の落語家も出始めた  
女性目線の落語もたのしみ！

外国語での落語は欧米でも笑いを誘い、国境を超え始めている

人情話は強い！